

雪印種苗(株)がおすすめる 野菜品種のご紹介

北海道統括支店 北海道園芸課 山野井 徹

今年は何を作ろうかと決めかねている方に少しでも参考になれば幸いと思い、当社のおすすめ野菜を3品種ご紹介いたします。

<栗てまり®>

本年より本格販売となる新品种の「栗てまり」は、1果重が400g程度のミニカボチャです。着果は安定しており1つるあたり4~5果の収穫が期待できます。苗を定植した後は、親づるを芯止めし子づる3本仕立てをおすすめします。

開花後40日程度を目安として、果梗のコルク化が十分に進めば収穫適期です。

収穫直後よりも、2~3週間貯蔵することで澱粉が糖化し甘味がのってきます。果実の上部を切り、ワタとタネをくり抜くように取り除いて調理をすると、器にもなりそのまま皮ごと食べることもできます。



栽培作型		●○: 播種期 ▲: 定植期 ■: 収穫期										
地域	作型	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道 東北 高冷地	トンネル			●○	▲							
	露地			●○	▲							

<ピュアホワイトSP>

ボリュームと食味を兼ね備えた「ピュアホワイトSP」は、「ピュアホワイト」よりも耐倒伏性に優れ、フルーティーな甘みの白色品種です。

欠株を防ぐため2~3粒播きを基本とし間引きの実施をおすすめします。

絹糸抽出から25日程度を目安として、先端の粒の張り具合を見ながら収穫しましょう。

交雑により、黄色い粒が混ざったり皮が硬くなった

りするキセニア現象が生じることがあります。



栽培作型		●○: 播種期 ■: 収穫期										
地域	作型	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道 東北 高冷地	トンネル			●○								
	マルチ・露地			●○								

<青祭(あまつり)>

大莢で高温期にも着莢が優れる「青祭」は、タネが青(緑)色の青豆品種です。もともと莢の色が濃いことに加え、褪色が遅いことから青々とした莢を長く収穫できます。草丈が伸びやすいため、無理な早播きは控えた栽培をおすすめします。



栽培作型		●○: 播種期 ■: 収穫期						
地域	作型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
北海道	露地		●○				■	



黄大豆と青豆の種子の違い